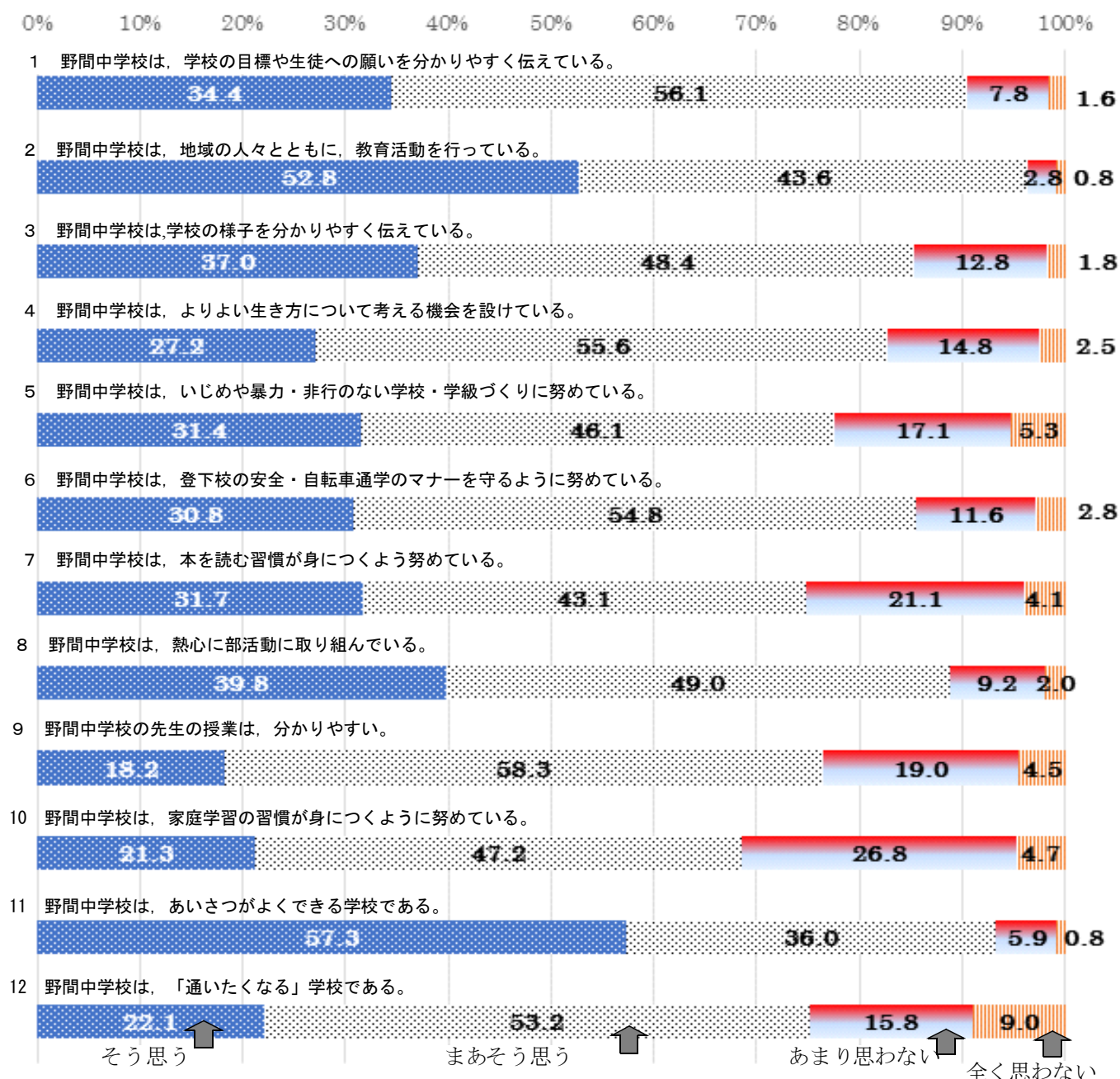


- 肯定的な評価（「そう思う」「まあそう思う」）として「２．地域との協力性」が９４．９％でした。「海岸清掃」「ごみゼロ運動」「地域ボランティア」「資源回収」等、様々な行事を地域と協力して取り組むことができました。「よく動いていたよ」という声が生徒にとっても教員にとっても励みになります。大人になって野間を大切に思う生徒を育成していきたいと考えています。
- 「３．情報発信」についても９２．４％と高い評価でした。「ホームページの更新が早く、楽しみに見えています」という声もいただきました。これからも「野間中ホームページ」をタイムリーにお知らせしていけるよう努力していきます。
- 課題は、「６．登下校・自転車」です。本校の課題ととらえ、新しく項目を設定しました。毎日の下校指導に力を入れてきたのですが個々の生徒の意識を高めていく必要があります。３学期より自転車の許可制に取り組みます。１月８日には、自転車通学者を集めて全体指導をしました。マナーが守れない生徒については、家庭に連絡をします。それでも改善が見られない場合には、生徒の命と安全を確保するために「自転車通学停止」措置についても考えていきます。生徒一人一人が自覚して安全に登下校できるようにしていきます。
- 「１０．家庭学習の在り方」についても去年より評価は上がりましたが、まだ課題となっています。毎日の勉強習慣の大切さを再確認すると共に、毎日、家庭で机に向かう習慣ができる手立てを考えていきます。

生徒アンケート結果



・生徒アンケートの結果、昨年度よりも9項目上がりました。野間中生の一人一人の心の成長を感じることができ、うれしく思います。

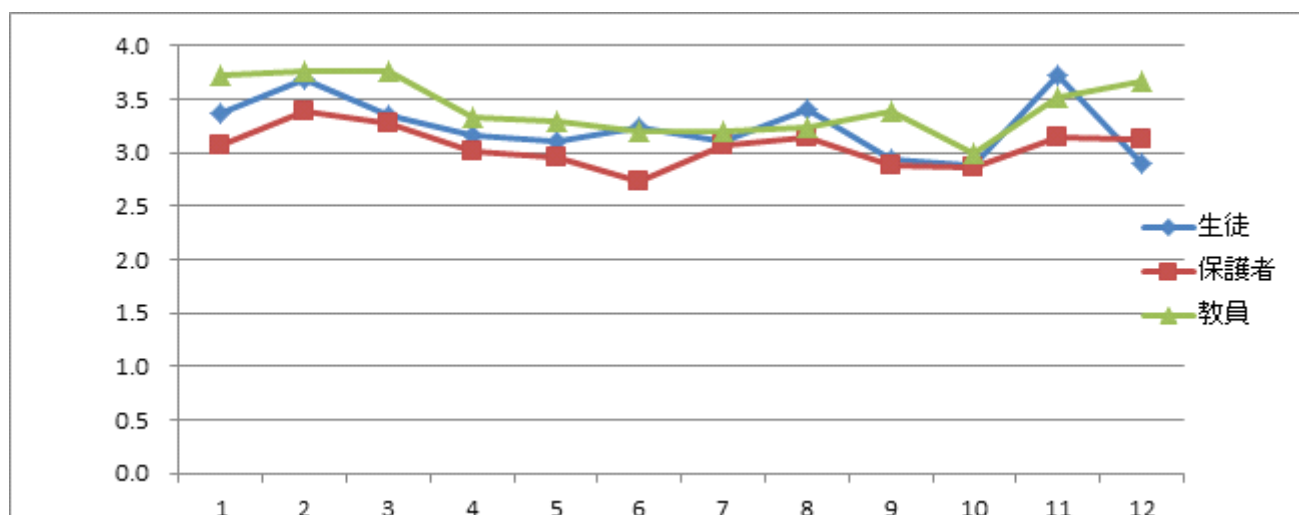
・「11. あいさつ」の項目については、4月より「家庭に地域にみんなにあいさつ」を重点目標に設定しました。そして、生活委員会を中心としたリーダー指導、心の教育の推進に力を入れてきました。また、生徒会主催のあいさつ運動には、地域の方にも協力していただき、継続的に取り組んできました。その結果93.3%の生徒が「あいさつがよくできる」と感じています。すばらしいです。実際に気持ちのよい挨拶ができています。明るい「おはようございます。」と共に清々しい気持ちで一日の始まりを迎えることができています。

・課題としては、ひとつ目は、「10. 家庭学習」です。「家庭学習の習慣が身につくように努めている」という問いに対して「あまり思わない26.8%」「まったく思わない4.7%」という結果です。どんなことでも大切なのは、「続けること」です。自分で「続けて努力できる」生徒を育てていきます。

・課題のふたつ目は、「7. 読書」です毎朝行っている朝読書の時間を大切にしていくと共に、自分の興味・関心に応じて本を手取る手助けをしていきます。

・「6. 登下校・自転車」については、85.6%の生徒はできていると感じています。本当にきちんとできているのか、確認すると共に14.4%のできてない生徒に指導をしていきます。

アンケート結果平均値 生徒・保護者・教員 比較表



項目	1 教育目標	2 地域との協力性	3 情報発信	4 道徳教育	5 いじめ対策	6 登下校・自転車	7 読書習慣	8 部活動	9 分かりやすい授業	10 家庭学習の在り方	11 あいさつ	12 通いたくなる学校
生徒	3.4	3.7	3.4	3.2	3.1	3.2	3.1	3.4	2.9	2.9	3.7	2.9
保護者	3.1	3.4	3.3	3.0	2.9	2.7	3.1	3.2	2.9	2.9	3.1	3.1
教員	3.7	3.8	3.8	3.3	3.3	3.2	3.2	3.0	3.4	3.0	3.5	3.7



※項目の詳しい内容については、前ページを参照ください。

- 意識のすれとして、「登下校・自転車」の項目が生徒平均 3.2 に対し保護者平均 2.7 という結果となりました。特に「自転車」については危険性と背中合わせなので、どこでも安全に運転できることを基本としなければなりません。今までの指導を見直し、一人一人がマナーを守ることができる生徒を育てることができるようにしていきます。
- 本年度成果があったものとして「あいさつ」があげられます。特に生徒平均 3.7 という数値はうれしく思います。生徒一人一人もあいさつをしているという自覚が感じられます。4月からの継続的な指導の結果、気持ちのよいあいさつが自然にできる場面が増えてきたと感じられます。来年度も引き続きあいさつのできる野間中学校にしていきます。
- 生徒・保護者・教員ともポイントが低いのが「家庭学習の在り方」になります。生徒・保護者とも約 7 割は、肯定的な評価をしていただいています。残りの 3 割にスポットを当て自分から家庭学習ができるように指導方法を工夫していきます。
- 次に生徒・保護者・教員ともポイントの高かったのが「地域との協力性」です。野間中生は、様々な地域のボランティア活動に進んで出かけていきます。これからも地域と共に協力できる野間中学校でありたいと思います。ご支援・ご協力をよろしくお願いします。

編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp

生徒による自由記述より（複数意見があった主なもの）

良い点はどこなところ	野間中に望むことはどんなこと	学校としての対策
・あいさつができる。 ・部活に熱心に取り組む。 ・校舎がきれい。 ・トイレがきれい、暖かい。 ・先生も生徒も明るい。 ・一人一人を大切にしている。 ・地域と交流している。 ・他学年と仲がいい。 ・ボランティアに熱心。	・行事を増やしてほしい。 ・授業を分かりやすくしてほしい。 ・部活動をもっと積極的に行うようにしたい。 ・教室に暖房や冷房がほしい。 ・図書館にもっと本がほしい。	→各教科の学習時間も確保しながら、成長につながる行事を選び、行っています。 →先生たちも研修や研究授業等、勉強の機会を増やしていきます。 →部長会で話し合った「DASH」を大切にして野間中全体で頑張ります。 →皆さんの安全面で大切なことから対応しています。 →経団連会長さんの「榊原文庫」入りました。毎年、新しい本を購入し充実させています。

保護者による自由記述より（複数意見があった主なもの）

良い点・がんばっている点	努力、改善してほしい点	学校としての対策
・地域の方と共に教育活動をしている。 ・あいさつがよくできている。 ・学校行事等に先生方が熱心に取り組んでいる。感謝している。 ・ボランティアに力を入れている。 ・部活動の指導が熱心である。 ・テスト週間の補習がとてもよい。 ・先生方が生徒とよく接している。笑顔がいっぱいでした。 ・スマホ利用についてなど話し合いの場をつくっている。 ・通用門前で先生方が出迎えあいさつを交わしているのはとてもよい。 ・ホームページの更新が早く楽しみにしている。 ・読書タイムで読書の習慣を身につけ、落ち着ける時間を作っている。	・髪の毛、制服の乱れを改善してほしい。 ・問題行動を起こす生徒に対して甘い。 ・部活動でやる気の出る指導をお願いする。 ・自転車通学者のマナーが悪い。並走、後ろ向き、ふらふら、ノーヘル、自動車から見て不安。 ・勉強をわかるまで教えてほしい。 ・家庭学習の提出をきちんとさせてほしい。	→職員が一丸となって取り組んできました。一部の生徒については、反省点となっています。学校全体としては、野間中スタンダードとして守るべき重点を一つずつ育成しています。あいさつ運動や清掃活動等成果も出てきました。今後も、子どもたちにとって何が大切なのかを考えながら指導していきたいと考えています。 →部活動につきましては、よい評価も悪い評価もいただいています。体と心を育てる大切な時期なので、すべての部活動で意欲的に活動できるように日々の活動を見直し継続して指導をしていきます。 →本年度も、ほぼ毎日、全職員による下校指導や全校集会・朝会などで、指導の機会を増やしています。しかし、まだまだ守られないことがあるようです。繰り返し指導していきます。1月8日に自転車通学者を集め、守るべきマナーについて指導しました。3学期の最重要課題として、生徒の安全に対する意識の向上に取り組んでいます。 →来年度も英語のTT（教師2人）の授業や数学の取り出し授業、場面に応じての補習授業等検討していきます。 →その通りです。声かけをしてきちんと提出できるようにしていきます。ご家庭でも協力をお願いします。

主な意見を掲載いたしました。他にも多数のご意見ありがとうございました。皆様より寄せられたお声を検討し、今後の教育活動に生かしていきたいと思っております。今後とも、本校の教育活動に対しまして格別のご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。